

# 地域福祉リーダー誕生!!

平成25年度地域福祉サポーター・リーダー養成講座修了者

※地域福祉を推進するための“人財育成”事業  
サポーター

⇒地域福祉活動の“理解者” “応援者”

リーダー

⇒地域福祉活動の“企画・発案” “実践者”



日向市社会福祉協議会

# 社協だより

地域福祉リーダー養成講座より  
関連記事は2ページ!

ハートフル  
4月号  
2014年

# 第1回 日向市地域福祉活動コンテスト

主催：日向市地域福祉コーディネーター連絡会（通称：おせっ会）

昨年12月から実施してきました地域福祉活動人材育成事業「地域福祉サポーター・リーダー養成講座」の学びの集大成として、地域福祉活動（企画）コンテストを開催しました。

コンテストへは、養成講座の受講生と地域福祉コーディネーターから計26企画の応募があり、一次選考を行い、上位7つの企画を選考しました

当日は、一次選考上位7企画の企画者によるプレゼンテーションを行い、会場にいる参加者全員による投票（最終選考）にて、最優秀賞を決定いたしました。

## 最終選考エントリー企画（一次選考通過上位企画）

No.	企画者氏名	地域福祉活動企画タイトル
1	石田 匡明	教え隊!教わり隊!
2	赤木 智子	PTA組織に「福祉部」を作ろう!
3	大野 靖文	お泊りサロン
4	寺田新一郎	「ロコモ」を学び「ロコモ」を知って要介護、寝たきり防止
5	石田 匡明	愛を持たせよう
6	築地美由樹	地域に明るい子供の声を
7	池田 実希	まずはやってみようよ、また考えればいじやないか



プレゼンテーション

投票

開票

## 最終選考 “結果発表”

### 最優秀賞

「愛を持たせよう」

#### 選考理由

- ※今すぐにでもできそう
- ※子ども、高齢者、住民のつながるイメージができる
- ※経費がかからない
- ※活動の“幅”があり、工夫ができる

### 優秀賞

「教え隊!教わり隊!」

#### 選考理由

- ※実現化しやすい
- ※共通の場所・時間を過ごしお互いに“関心”が生まれる
- ※本当にやりたいと思う
- ※地域住民（子どもから高齢者まで）が集える場になる

### 特別賞

「お泊りサロン」

#### 選考理由

- ※活動がイメージできる
- ※身近に感じた企画で実現も可能
- ※ボランティアで関わりたい
- ※他の福祉活動のきっかけとなる要素がある

## 最優秀賞「愛をもたせよう」企画内容

現状＝「世代間のふれあいが無い」

なぜ？ なんて？

理由＝「共通の話題がない」  
「行動の時間帯が合わない」  
「家族的な付き合いがない」

だったらどうする？

行動＝各地区において、高齢者の皆様に協力をいただき、  
**(企画)**子どもたちの登校時間に合わせて、自宅玄関前道路にお立ちいただき、子どもたちの登校を見ていただく。ただそれだけ

理想＝「名前呼び合える“つながり”を持たせる」  
「各人に“関心”を持たせる」



コンテストの最後は、これまでの学びの振り返りと、学びの中から福祉活動の“きっかけ”としていただいた“26企画”の実現に向けた取り組みを、新たな人財（学びの修了者）と共に実践していくことを確認しました。

最優秀賞に輝いた企画「愛をもたせよう」につきましては、平成26年度の地域福祉活動として、事業化することになっています。

福祉の学びをとおして、新たな“つながり”や行動するための“きっかけ”を得ることができ、地域のこれからの可能性を感じ・イメージすることができました。あとは、実践するだけです。地域住民の皆様への地域福祉活動への参加をよろしくお願いいたします。

今回の地域福祉活動コンテストの企画内容の詳細についてのお問い合わせは、お手数ですが地域福祉課 地域支援係 成合進也、三樹香織までお問い合わせください。

# 地域福祉研修会（東郷）

3月4日（火）に東郷公民館で地域福祉研修会を開催しました。福祉推進協議会委員、福祉推進員、民生委員、73名の参加があり、地域の見守りについて白熱した議論がなされました。

## 地域福祉研修会って？

旧東郷町には班ごとに福祉推進員を設置する制度があり、合併後も継続して活動を行っています。福祉推進員は高齢者の見守り活動を中心に行っており、推進員と福祉関係者の研修会です。



### 1.黄色い旗運動検証報告

東郷地域では、東郷まちづくり協議会を中心に「黄色い旗運動」を実施しています。住民みんなで見守り活動を行うもので平成25年度で2年目になります。その検証結果を福瀬区の田邊英雄推進員長が報告しました。この活動を実施することで、隣家のことや地域のことを気にかけるようになり、「見守り」の意識が高まっているとの報告がありました。



### 2.「見守り」についての講話

東郷駐在所の小野裕喜氏より、地域での「見守り」の重要性について、経験談も交え、いかに重要なことかをお話しいただきました。



### 3.今年度の振り返りと平成26年度にやりたいこと

区ごとに分かれてグループワークを行い、平成25年度を振り返って「できたこと、できなかったこと」の検証をしました。地域で開催されているサロンや黄色い旗運動の必要性をあらためて感じたところです。また26年度に自分たちで「やりたいこと」を区ごとに検討しました。

今まで行っていた事業を継続強化したり、サロンの復活など、地域を見守るための事業を皆さん考えられていました。



### 平成26年度にやりたいこと

寺 迫	小地域福祉座談会の開催 推進員を中心にサロンを開催する ひまわりコミュニティー事業の継続
福 瀬	区座談会を6月初旬までに行う（ひまわり種の配布と巡回の計画等）
小野田	ひまわり施策の実施 （苗を育てて70歳以上の高齢者世帯に配布して、ひまわりと一緒に育てる。喜ばれると思うから）福祉座談会と併せて、推進員研修会を行う （新任の福祉推進員の研修会を5月～6月の間に行いたい。併せて、班長にも理解をいただく）
鶴野内	高齢者の声掛け運動を行う
迫野内	七夕飾りを福祉推進員が見守る 歩こう会のあとに座談会を開催する 黄色い旗運動を行う
八重原	黄色い旗運動を積極的に行う （取り付けを福祉推進員と民生委員とで行う）
田 野	定期的に会をして福祉推進員どうしの情報交換をする
羽 坂	黄色い旗運動の取り組みにあたって、旗の取り付け作業を行う 芝桜、彼岸花の補植 心カードの強化
仲 深	花いっぱい運動を広める 福祉座談会の実施（年1回は） 区民の集い（歩こう会の後）
坪 谷	サロンの方々の協力を得て、高齢者に喜んでもらえる事として、年2、3回、80歳以上の方を対象に簡単なお弁当を作って配布したいと思います。その事が見守りにも役立つのではないかと考えています
越 表	スポーツサロンとして、高齢者と一緒にグラウンドゴルフ、ゲートボールに、福祉推進員全員で参加する



今回の研修会では自分たちの地域を安心安全なまちにしていくために、みんなで考え、区として「やりたいこと」を話し合うことができ、そして想いを共有することができました。

その想いを実現できるよう、さらに一歩進んだ活動を繰り広げていきましょう。



2014  
2.22

# 第4回 日向市認知症フォーラム

認知症について正しく理解し、地域で暮らすために必要な支援活動を考え、行動する“きっかけ”づくりを目的に「認知症フォーラム」を開催しました。今回のフォーラムは、地域で活動されている実践発表・報告をメインに企画し、日向市における認知症の人やその家族を地域で支援するための取り組みについてご理解いただきました。

フォーラムをとおして、日常生活の中で住民一人ひとりが“ふくし”を意識し、できることを実践し、続けることの必要性を感じていただきました。

## 第1部 認知症事業報告



日向市による認知症対策について説明



日向市における認知症地域支援体制推進事業について報告

## 第2部 認知症支援実践活動報告



ジョイ美容室  
三浦文司

傾聴ボランティア  
原田耕作

HOSOSHIMA  
まちづくり協議会  
上村正子

実践活動報告では、ジョイ美容室、傾聴ボランティア、HOSOSHIMAまちづくり協議会から各1名代表者として事業の取り組みについて発表・報告をしていただきました。

ジョイ美容室の三浦氏は、地域のアンテナショップとして認知症に関することに協力していき、認知症の方が恐怖を抱かずに社会に出られるまちづくりを作りたいということをしていただきました。

傾聴ボランティアの原田氏は、実際に母親を介護していた経験を元に話して頂き、ひとりで抱え込まずに専門職や周りの方に助けを求めることなど介護をする上でのアドバイスの話をしていただきました。

HOSOSHIMAまちづくり協議会の上村氏は、細島地区認知症徘徊模擬訓練を行うにあたっての動機や訓練までの流れ、今後の活動の展開についても細かく話していただきました。

## 認知症地域支援活動展示

展示室では、認知症サポーター養成講座を受講しての感想文や認知症地域支援体制推進事業活動写真パネル展示、認知症の人やその家族を支援する専門機関の情報の展示を行い、認知症簡易テストの実施も合わせて行いました。

展示をとおして、認知症についての理解と医療・介護の支援のイメージ、日向市の地域支援の取り組みについて理解を深めていただきました。



認知症の人への医療・介護、地域支援イメージ



認知症地域支援  
事業活動写真



認知症簡易テスト

## サポーター 学びの“声”

私たち財光寺小学校の6年生は、昨年の11月に認知症サポーター養成講座を受講しました。この講座を受講する以前は、認知症がどのようなものであるのかということも全く知らなかった私ですが、日向市社会福祉協議会の方のお話や説明、そしてグループワークを通し

て、認知症について多くのことを学ぶことができました。今日は私が認知症サポーター養成講座を通して、学んだことについて紹介したいと思います。

学んだ事の1つ目は、「協力することの大切さ」です。認知症の方が、快適に生活するためには、いろいろな方が協力していることが分かりました。例えば、認知症の方が、夜一人で外に出て行ったときに、家族だけでは探しきれません。しかし、ネットワークに登録しておくことで日向市全体で探してくれるそうです。認知症の方々の生活を守るためにみんなが協力しているのです。これから私もできる範囲で協力していきたいですし、協力しようとする気持ちを持ち続けたいと思います。

2つ目は、「認知症についてしっかり理解することの大切さ」について学びました。認知症という病気を介護者がしっかり理解してあげることで、何かあったときでもパニックにならずに上手に対応することができます。これが、もし理解していなかったら何からしていいか、どんな順序でやればよいか分からなくなっています。このように認知症の患者さん自身や病気のことについて、理解することは症状の改善や病気の進行を抑える薬にもなるということも聞きました。

3つ目は、「認知症の患者さんを責めないこと」です。物忘れがひどくなってしまった認知症の方に、怒鳴って大きな声を出してもあまり効果はないそうです。また「何をやっているんだ」「早くしなさい」など相手を責めるような言葉も逆効果だそうです。逆に「よくできたね」「すごいね」などたくさん褒めてあげた方が、さっきも言ったように症状をよくさせたり、病気の進行を抑えたりするそうです。

このように認知症に関することを2回の授業を通して学ぶことができました。これからますます高齢化が進む日本で、日向市も例外ではありません。私の身近なところに認知症の方が現れることもきっとあると思います。その時は、今回学んだ事を生かしながら、認知症の方に接することができるようにしたいです。



財光寺小学校6年  
那須明日香

## 認知症… 私たちは知っています！ 認知症サポーターとしてできることをやります！

## サポーター 学びの“声”

僕は、今回、認知症について学習するまでは、物忘れをする、周りのことが分からなくなる、自分のことも分からなくなるということぐらいしか知りませんでした。そして、先生から「認知症サポーター養成講座」を受講することを聞いて、改めて、「認知症にはどんな原因

でなるのか?」「認知症の人に会ったら、どのように接すればいいのか?」という疑問を持ち、講座に参加しました。

1回目の講座では、認知症の症状を絵本の読み聞かせでわかりやすく教えて頂き、自分たちがどう接してあげればよいかというグループワークを行いました。僕は付箋にたくさんの考えを書きました。

2回目の講座では、僕たちが出したたくさん質問に丁寧に答えて下さり、認知症についてさらに詳しく知ることができました。また、地域での取り組みや、徘徊模擬訓練の映像を見て、自分たちの身近なところでもいろいろなことが行われていることを知りびっくりしました。

僕が講座の中で一番心に残ったことは、認知症の人がいたら、周りの人が優しく助けたり接したりすることで、その人もずいぶん生活しやすくなるのだなということです。認知症の人への接し方が分かってよかった、安心した、生活の中で役立つそうだという感想をもつ友達もたくさんいました。

今回、僕たちは、認知症についての学習を中心に行いましたが、「ふだんのくらしのしあわせ」福祉って大切なんだということ、お話に来てくださった社会福祉協議会の方々のようなお仕事をの方がいらっしやることも知りました。

また、講座の最後に「あと3日しか生きられないとしたら」というお話があり、僕は「多くの人を助ける医者になりたい」という夢を持つこともできました。

あと1ヶ月ほどで小学校を卒業し、4か月からは中学生になりますが、この講座で学んだことを活かして、誰にでも優しく接していきたいと思っています。



財光寺小学校6年  
新名悠陽

# 財光寺南小学校6年 認知症サポーター養成講座

3月12日、財光寺南小学校にて認知症サポーター養成講座を行いました。講座前までは、74名中5名しか「認知症」を知らなかったが、認知症を正しく理解し、認知症サポーターとなりました！

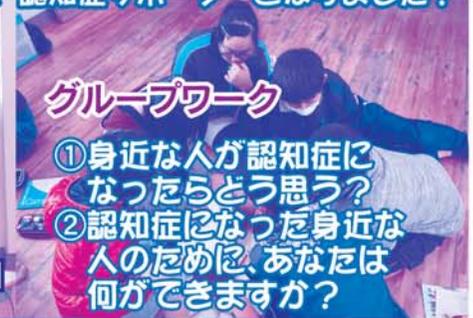


認知症についての理解を深める



認知症の人への対応!

「お昼ごはん食べたかねえ〜?」



グループワーク

- ①身近な人が認知症になったらどう思う?
- ②認知症になった身近な人のために、あなたは何かができますか?



私たち、認知症サポーターになりました!

《感想》

認知症の介護の仕方をもっと勉強して、できるだけ気持ちを理解してあげる。一緒に過ごす時間を増やす。自分も認知症になった人も、後ろ向きにならないように、出来るだけ明るく話して、楽しく優しく接してあげたい。自分がまず笑顔でいる!

## 日向市ボランティア・市民活動センター

4月号では、日向市内にて施設訪問ボランティア活動をしている個人・団体を紹介します!



ハーモニカ演奏と歌唱を融合させ、素敵な音色を届けてくれる、米田藤義さん・坂東房代さん親子他にも、勢力的に活動されている団体がたくさんあります!ご依頼は下記

問い合わせ先までお願いします!お待ちしております!

- ナツメロかぼちゃ歌おう会 (ナツメロ)
- 音訳・点訳ひょうが虹の会 (読み聞かせ)
- ナツメロボランティアズ (日本舞踊・唄)
- エスplanサー (ギター等・ナツメロ)
- コールなでしこ (コーラス)

日向市ボランティア・市民活動センターには、傾聴ボランティアなどさまざまなボランティア団体が登録しています。

ボランティア依頼をしたい!ボランティアしてみたい!など、ボランティアに関する相談がありましたら、お気軽にご相談ください!

《お問い合わせ先》

日向市ボランティア・市民活動センター  
TEL 52-2572 FAX 52-9562 担当: 鬼塚・藤本

## 財光寺 フォーラム

3月9日(日)に財光寺フォーラムが開催されました。日向市において地域単位のフォーラムが実施されることは初めてであり、その意味でも多くの財光寺住民の皆さんに参加いただいたことは非常に意義深いことだったと思います。



九州保健福祉大学 井上孝徳教授



財光寺地域包括支援センター 梅田氏

フォーラムでは、第1部で九州保健福祉大学の井上孝徳教授をお招きして、「地域はあるものではなく創るもの」と題して講演をいただきました。その後、第2部にて財光寺地域包括支援センターの梅田大介氏と日向市社会福祉協議会の成合進也より今年度取り組んだ地域福祉活動の報告が行われました。社協からは今年度取り組んだ「財光寺ふくし学園」の報告と学園生が作成した地域診断マップの展示をさせていただきました。



日向市社協地域福祉課長 成合



財光寺ふくし学園地域診断マップ

【参加者の声】

- つながりのある地域をつくるのが今後大切になると切実に感じました。
- 絆・近所づきあいが大切、まずは挨拶からはじめていきたい。
- 財光寺を考える会(仮称)を発足したいと心から思いました。楽しい住民活動を目指したい。

この他にもたくさんの貴重なご意見をいただきました。今回のフォーラムをきっかけとして財光寺の地域福祉を盛り上げていきたいです!

# ご入学・ご進級 おめでとうございます！

小学生のみなさん！日知屋児童センターや大王谷児童館では、季節の行事のほか、スポーツ教室やゲーム大会、お店屋さんごっこにクッキングなど毎月さまざまな行事をしています！

ズバリ！参加しないともったいない！！毎月の社協だよりをチェックしてね！！各放課後児童クラブや市役所こども課にも予定表を掲示してあります！



**指定管理者として日向市より管理を受託して、事業運営を行っています！**

**大王谷児童館** 電話 50-1117  
**行事のお知らせ！**

4月19日(土) 14:00~15:30  
『小学生・オリエンテーション』

☆大王谷児童館ってどんなところ？  
ゲームを楽しみながら、児童館での過ごし方を覚えましょう！

**日知屋児童センター** 電話 52-8443  
**行事のお知らせ！**

4月19日(土) 14:00~15:30  
『オリエンテーション』

☆日知屋児童センターってどんなところ？  
新しい友達となぞときして仲良くなろう！

**毎月の行事はここでチェック！**

## お別れ遠足に行ってきたよ！

市内の児童クラブや事前に申込みのあった4年生以上のお友達と、3月1日(土)と8日(土)の2回に分けてヘルストピア延岡に行ってきました。子どもたちはウォータースライダーを何度も滑ったり、流れるプールで鬼ごっこをしたりと、プール遊びを思いっきり満喫していたようです！

**みんな泳ぎ上手！**



**ウォータースライダー！！**



これも、監視のボランティアや保護者の方のご協力があってこそだと感謝しています。本当にありがとうございました！！

### 日知屋児童センターよりお礼



江良区の高齢者クラブ「みどり会」の方から、手縫いの雑巾をたくさんいただきました！！大切に使用させていただきます。ありがとうございました！！

# 行こう！講座へ！！

何してますか？ 来てみらんね！  
市より指定管理にて受託している日向市老人福祉センターと平岩ふれあい館では、今年度も各種講座を行います！！

行かなきゃ損！さあ、申し込もう！！

(対象：市内在住の60歳以上の方)

**日向市老人福祉センター TEL 52-6569**

講座名	内容と日時	定員
健康講座	ストレッチ体操やダンスゲームで柔軟性や体力づくり！ 月2回 第2・第4水曜日 10:00 ~ 11:30	15名

**平岩ふれあい館 TEL 57-2324**

講座名	内容と日時	定員
陶芸教室	世界に一つだけの器！つくってみませんか？ 月1回 第2水曜日 13:30 ~ 15:00	12名
健康体操	みんなで楽しく！いつまでも若い体を保とう！！ 月1回 第2火曜日 13:30 ~ 15:00	10名
プロに習う料理教室	プロに和食・洋食・中華を習ってみよう！！ 月1回 第2金曜日 10:00 ~ 12:00	10名
男の料理教室	男子厨房に入ります！！ 初心者大歓迎！ 月1回 第3金曜日 9:30 ~ 11:30	15名

◆受講料 年間1,000円  
(ほか材料代などは別途自己負担になります。)

◆期間 平成26年6月～平成27年3月

◆申込期限 平成26年4月25日(金)

◆申込先 まずはそれぞれにお電話ください！

## 日向市富高地区民生委員児童委員協議会主催

子育てサロン「日向っ子」 **春の親子遠足のご案内！** 

子育てサロン「日向っ子(ひなっこ)」は、子育て中の保護者と子ども達の、楽しい仲間作りと交流の場です。皆さんの参加をお待ちしております。

[場所] 日向市東郷町 牧水公園  
[日時] 平成26年5月16日(金)  
10:00～14:30  
[用意する物] 昼食のお弁当、おやつ、飲み物など  
[参加費] 100円  
[申込締切日] 5月12日(月)  
[お問い合わせ] 日向市社会福祉協議会 担当：三樹  
(電話) 52-2572

※ バスの乗車定数が限られていますので、定数を越えた場合はお断りさせていただくことがあります。



【発行者】

社会福祉法人  
**日向市社会福祉協議会**

【日向市ボランティア・市民活動センター】

きいちゃん ひまたん 【日向本所】

〒883-0034 日向市大字富高207-3  
日向市総合福祉センター  
TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://www17.ocn.ne.jp/~hyugasha/>  
Eメールアドレス [hyuga207@eagle.ocn.ne.jp](mailto:hyuga207@eagle.ocn.ne.jp)

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2  
日向市東郷地区総合福祉センター  
TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

## 香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成26年2月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
寺原文 質	寺原 マサ子	公園通り
黒木 津矢子	黒木 国 男	庄 手
大石 喜太男	大石 マス子	仲 深
黒木 孝 夫	黒木 虎 吉	仲 深
小野 美 紀	小野 裕 平	平 岩
佐藤 章 三	佐藤 吉 枝	松 原
小川 由美子	黒木 昭 代	迫野内
黒木 富美子	黒木 正 市	春 原
神戸 澄 江	畝 原 ケサヨ	小野田
寺 町 忠 雄	寺 町 チヨカ	立 縫
菊 田 一 美	菊 田 フユ子	笹野中
黒木 洋	黒木 照 秀	立 縫
麻田 範 子	麻田 房 男	中 村
児玉 立 身	児玉 文 男	笹野中
上米良 ミツ子	上米良 一 義	中 原
坂本 万 善	坂本 マサ子	公園通り

〈一般寄付金〉敬称略

平成26年2月分

氏名・団体名
カラオケアテネ 平口洋一

### お詫びと訂正

ハートフル3月号の〈香典返し〉の欄において「和田フミノ」様と掲載しておりましたが、正しくは「黒木フミノ」様です。  
訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

## 社協日記

今日、単身世帯、夫婦世帯が標準的な世帯になっていると言われていました。夫婦世帯で病気や事故などでどちらかがいなくなった場合、たちどころに単身生活を余儀なくされます。子どもは就職して県外で生活し、地域の付き合いをあまりしていない場合などは「孤独」な一人暮らしをすることになります。

世の中は確かに便利になりました。携帯電話で日本国中どこでも通話ができます。せっかく便利なものがあるのですから、どんどん使って遠くに住んでいる子どもや親戚、友人たちに連絡し心の距離を縮めていきたいものです。また、向こう三軒両隣の人たちとの距離(助け合い、支え合い)の大切さは言うまでもありません。

心の距離を縮めるための不断の努力をして行くことはありませんか。(嶋)